

## 第2学年 国語

### 第2学年の学習到達目標

- (1) 相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事な事を落とさないように聞くことができるようにするとともに、話し合おうとする態度を育てる。
- (2) 経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。
- (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

### 第2学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	一 はっきりとした声で読もう かくれんぼ	●はっきりとした声で、すらすらと声に出して読む。	○場面の様子を思いうかべながら声に出して読む。[発音と姿勢]
	二 書いてあることを正しく読もう たんぼぼ	●順序に気をつけて、説明されている事柄を読み取る。	○順序に注意して説明文の内容を読み取る。
	よく見て書こう	●観察して、気づいたことをくわしく書く。	○花や野菜をよく観察して、気づいたことを分かりやすくカードに書く。
	三 ばめんに気をつけて読もう お手紙	●場面ごとに人物のしたことや気持ちに気をつけて、お話を読む。	○人物の行動を手がかりに、場面ごとに気持ちを読み取る。
	四 せつめいの文をくらべて読もう ふろしきは、どんなぬの	●二つの説明の文を比べて、違いを考える。	○「問い」と「答え」による説明の仕方を知る。
	できるようになったよ	●順序に気をつけて文章を書く。	○体験を順序よく文章に書く。 ○文章を推敲する。
	しを読もう いろんなおとのあめ 空にぐうんと手をのばせ	●詩を声に出して読み、言葉の響きを楽しむ。	○言葉の響きやリズムを楽しみながら、声に出して詩を読む。
	話したいな、とくいなこと	●聞く人に伝わるように順序よく話す。 友達の話に興味をもって聞く。	○「始め」「中」「終わり」の順序に沿ってスピーチし、聞き手は質問する。
	「ありがとう」をつたえよう	●伝えたいことを簡単な手紙に書く。	○相手に気持ちを伝える手紙を書く。
	言いつたえられているお話をしろう	●神話や伝承を聞いたり、自分で読んだりし、おもしろかったところを友達に発表し合う。	○神話や伝承をに親しみ、おもしろかったところを友達に発表する。
	一 人物のようすや気持ちに気をつけて読もう 名前を見てちょうだい	●出来事の順序に注意して様子や気持ちを想像しながら読み、読んだ本のおもしろかったところを紹介する。	○登場人物の言葉や様子を読み取る。 ○いろいろな本を読んで紹介する。(読書)
二 絵を見てお話を作ろう	●絵から想像を広げて、お話を書く。	○それぞれの場面について想像を広げ、登場人物の行動や会話が分かるようにお話を書く。	
後期	二 どうぶつのひみつをみんなでさがろう ビーバーの大工事	●だいたいな言葉を探しながら、順序に気をつけて読み取る。	○説明文を読んだり本を読んで調べたりしたことから、取り上げる事柄を選び、メモを取りクイズを作る。
聞き合おう、みんなのたからもの	●一つの話題について、知りたいことを尋ねて話し合う。	○宝物について知りたいことを質問したり、友達の話の聞いたりしながら、話題に沿って話し合う。	
三 じゅんじょをかながえてせつ明しよう 二年一組、はつ明じむしょ	●書くことを整理し、順序を考えて書く。	○発明品のよさや使い方、工夫などが伝わるように、言葉や順序に気をつけて「しょうかいカード」を書く。	
四 むかし話を楽しんで読もう かさこじぞう	●人物の言動を中心に、出来事の順序に注意して様子や気持ちを想像しながら読む。	○場面の様子をとらえ、登場人物の言動から人柄を読み取る。 ○いろいろな昔話を読む。(読書)	

おばあちゃんに聞いたよ	●昔から伝わるいろいろな言い方について知り、声に出して読む。	○「十二支」「春の七草」等について知り、音読したり絵本を読んだりする。 ○いろはかるたで遊んだり、昔から伝わるいろいろな言い方を探したりする。
五 分かりやすくせつ明しよう 「おもちゃまつり」へようこそ	●聞く人によく分かるように、順序よく説明する。	○紹介したいおもちゃをグループで材料や作り方等を整理してカードに書く。 ○「おもちゃまつり」を開き、来た人に説明をする。
六 虫について知ったことをもとに考えよう 虫は道具をもっている	●似ているところと違うところに気をつけて読む。	○「虫の体のつくりと道具としての働き」や「自分たちの体と働き」を関連付けて考え、虫の生き方について話し合う。 ○虫を選び、自分の願いと関連付けて、行う事を絵と文章にかいて発表する。
「思い出ブック」を作ろう	●これまでに書いた文章や詩を読み返し、1年間の思い出を文章や詩に書く。	○心に残っていることが伝わるように、様子を詳しく書いたり、気持ちが表れる言葉を選んだりして文章を書く。
七 お話を紙しばいにしよう ニャーゴ	●場面に気をつけて、読み取った人物の様子や気持ちが伝わるように紙芝居をする。	○物語の順序に注意して読む。 ○登場人物の会話や行動を読み取る。 ○場面を考えて紙芝居を作る。

## 評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【国語への関心・意欲・態度】 国語に対する関心をもち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで読書したりしようとする。</p> <p>【話す・聞く能力】 相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないで聞いたりする。</p> <p>【書く能力】 経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書く。</p> <p>【読む能力】 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読む。</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>① 学習意欲や思考力・判断力・表現力の重視 知識や理解、技能だけでなく、児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力を重視して評価します。</p> <p>② 多目的な評価 ペーパーテストだけでなく、発言、ノート、作文、自己評価、相互評価、毎時間の伸び等様々な面から評価します。</p>
--	---

## 特色ある学習方法

<p>(1) 漢字当てっこゲームやどうぶつのひみつクイズやことば合わせゲームなどを行い、楽しみながら学習します。</p> <p>(2) 手作りおもちゃの作り方やお話会、音読劇などを発表します。</p> <p>(3) 調べ学習では、学校図書館や学級文庫などで調べます。</p>
---

## 使用教材等

○教科書「新しい国語2年」(東京書籍) ○くりかえしかんじドリル ○かん字の学しゅう ○話す読むスキル
---

## 留意事項

<p>家庭での音読・漢字練習にご協力をお願いします。</p> <p>(1) 文章を正しくすらすらと読めることは内容理解につながります。音読の宿題を出しますので、聞いてあげてください。そして、家庭の団らんの時間にお子さまの伸びを話し合ってください。</p> <p>(2) 漢字の定着を図るには、日々の練習が大切です。学校では筆順や読み方を中心に学習します。家庭でもノートに練習して定着を図るなど、ご協力をよろしくをお願いします。</p>
---

